

コード	103050108
記入日	H25.6.7

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	荒木 順一郎

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域利便性向上事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10305	基本事業名称	バス交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030501	事務事業名称	地区交通整備事業費	細目コード	881
関連計画	新上五島町交通体系再編計画		法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	宿ノ浦～若松間運行便数	(対象指標1)	876回			
(対象2)	大平～若松間運行便数	(対象指標2)	963回			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・デマンド（予約）乗合タクシー運行により、料金を設定した運賃を運業者が受領して運行した。 →宿ノ浦路線 事業費 5,379千円 運行回数 876回 →大平路線 事業費 6,103千円 運行回数 963回	*****	*****	*****	運行路線実績数÷ 運行予定路線数	*****
		①	運行路線数（宿ノ浦）	1路線	100%	平成24年度
(達成率分析)	運行路線1路線に対しデマンド乗合タクシーの運行を行った。					
*****		*****	*****	*****	運行路線実績数÷ 運行予定路線数	*****
②		運行路線数（大平）	1路線	100%	平成24年度	
(達成率分析)	運行路線1路線に対しデマンド乗合タクシーの運行を行った。					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・宿ノ浦・大平地区にデマンド（予約）運行をすることにより、無駄な運行をやめ、海上交通の経費削減と悪天候時の旅客船の運休状況をなくし、効率的な地区住民の移動手段を確保する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	-	*****
(達成率分析)	住民の移動手段の確保					
①	宿ノ浦、大平地区にデマンド（予約）運行をすることにより、効率的な地区住民の移動手段の確保が図られた。					
(達成率分析)						
②						
(達成率分析)						

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	件	5	5	4	1	1			
	②	件	4	4	3	1	1			
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	44,347	44,347	32,166	12,181	12,181				
直接事業費 A	千円	40,847	40,847	29,366	11,481	11,481				
人件費 B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.5	0.5	0.4	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	33,200	33,200	21,800	11,400	11,400			
	その他	千円								
一般財源	千円	11,147	11,147	10,366	781	781				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	近年の交通環境を取り巻く社会情勢に応じたデマンド運行により効率的な地区住民の移動手段の確保のため必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	交通再編計画に則った交通手段であり、デマント方式により効率化が図られ、地区住民の移動手段として利用されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	運行実績に応じた運行形態の見直しを行う。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	地区住民の移動手段の確保が図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	計画に則った実施事業であり、現在のところ見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	利用状況を勘案しながら、運行計画の変更を検討していく。

2次評価	地区住民の利便性の向上を図るため、デマント方式の有効性を確認し検証すること。今後さらに交通再編等の課題解決に向け、交通体系の効率性及び利便性の確保のため検討していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。